

個別施設計画

策定年月 H31.1

施設名	岡山武道館		所在地	岡山市北区いずみ町2-1-8			
敷地面積	6,052.00 m ²		棟数	2 棟 (計画記載対象 2 棟)			
延床面積	5,550.29 m ²			※対象は200m ² 以上の建物(車庫、倉庫等は500m ² 以上) ※公舎・寮は全て対象			
設置目的	武道その他のスポーツを通じて県民の心身の健全な発達を図る。						
【想定される自然災害】							
予想震度	6弱		津波	-		浸水	0.5~1.0m
建築規制	市街化区域 第二種住居地域 建ぺい率60% 容積率200%						
エネルギー使用量 (2017年度)	電気	ガス	水道	燃料	(-)		
	103,374 kWh	2 m ³	1,532 m ³	-	0		
管理上の特記事項	敷地内未利用地:無、敷地内貸付地:無						

1 施設内建物の概況

名称	主道場	練習道場(R2.3除却)	練習道場(R3.8新築)
築年(西暦)	1970年	1970年	2021年
構造	鉄筋コンクリート造 地上2階 一部鉄骨 地下1階	鉄骨造 1階	鉄骨造 1階
建築面積	1,423.00 m ²	1,020.18 m ²	1,144.17 m ²
延床面積	4,406.12 m ²	1,020.18 m ²	1,144.17 m ²
主要な用途 (室名等)	アリーナ 観客席	柔道場 剣道場	柔道場 剣道場
主要な設備 (屋外を含む)	電力設備(受変電設備) 電力設備(非常用発電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 空調設備(冷温水発生機) 給排水設備 消火設備(屋内消火栓設備) 非常用放送設備	給排水設備(給湯器) 消防設備(屋内消火栓設備)	電力設備(受変電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 空調設備(エアコン) 給排水設備(給湯器(局所)) 消火設備(屋内消火栓設備)
利用状況	中	高	高
耐震性 ※1	有	無	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	
	中性化 ※3	不適	
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	外壁	該当なし

※1 耐震性:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

未耐震建築物や老朽化の進んでいる建物(設備を含む)について、建替、改修等を行い、使用を継続する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
主道場	コンクリート中性化対策を行った上で、屋根、外壁等の修繕及び内装改修、照明のLED化、観客席取替、トイレの洋式化等を行う。
練習道場(R2.3除却)	建替(除却)を行う。
練習道場(R3.8新築)	予防保全を図る。

3. 施設全体のスケジュール

(概要)

- 1 設備更新等
主道場については、劣化が進んでいる設備等について順次更新を行う。
- 2 中性化対策(主道場)
2022年
- 3 建替・除却(練習道場)
2019年 実施設計
2020年～2021年 施工

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
主道場	設備等の大規模改修				実施設計	屋根照明 キャット ウォーク 吊物 3	中性化対策 観客席取替 内装床 外壁 玄関廻り 3				
	設備等の定期更新 (修繕・改修を含む)			実施設計		トイレ洋式化	トイレ洋式化 シャワー室 改修 空調 電気設備 畳取替				非常用放送設備更新
練習道場 (R2.3除却)	建替 (除却)			実施設計 *除却を含む	建替 4						
練習道場 (R3.8新築)	予防保全					予防保全					

4. 概算費用

総額 13億円(建替5億円、その他設備更新等8億円)